



## 『がんばりぬく』ということ

校長 青木 優樹恵

今年度の体育大会を、ようやく10月23日（土）に開催することができました。新型コロナウイルス感染防止のため、全校生での体育大会を可能とするために、児童席を出来る限り広く設定いたしました。そのため、保護者様の鑑賞エリアが限られ、各ご家庭2名までとさせていただきますが、ご理解とご協力をありがとうございます。また、PTA役員の皆様には、朝早くからのご協力に心より感謝申し上げます。子どもたちの活躍する姿を、直接見ていただくことができ、本当にうれしく思っています。

さて、体育大会のリハーサル、そして、開会式において、子どもたちに、『最後まであきらめず、がんばりぬきましょう』と話しました。その言葉どおり、『最後まであきらめず、がんばりぬく』姿をたくさん見ていただけたのではないのでしょうか。例えば、3・4年生の『ZSC ひっばれ ひっばれ』では、相手の陣地にほぼ引っ張られているのに、あきらめずに力を抜かない子どもたちに、思わず「頑張れ！」と大きな拍手。また、リレーでは、差がついていても決してあきらめず全力で走り続ける子どもたち。勝負は最後までわからないというのを証明してくれた場面もありました。本当に立派でした。

体育大会の翌日、競泳の萩野公介選手が現役引退を表明しました。萩野選手は、「すごく幸せです。悔いはありません。やりきったという強い気持ちが僕の中にある。」とすがすがしい表情で話しました。オリンピックで数々のメダルを獲得したものの、成績不振によるモチベーション低下を理由に長期休養も経験しました。ただ、このまま引退するのではなく、今年の東京オリンピックへの出場を果たしました。「苦しくてもベストを尽くすこと、一步一步前に進むこと、その尊さに気づいた。」と言う萩野選手。東京オリンピックで『がんばりぬいた』姿に感動した人も多かったと思います。選手を引退した萩野さんが、次の夢に向かうことができるのも、『がんばりぬく』ことができたからでしょう。

ところで、体育大会で子どもたちが『がんばりぬく』ことができたのは、子どもたち自身の力ですが、そこには、その力を最大限に引き出したいと願い、日々指導してきた先生たちの努力もありました。まずは、大玉を安全に速く転がす、棒を力強く引っ張る、バトンを確実に渡す等、技能を習得させるための指導がありました。また、『がんばりぬく』気持ちを育てるために、時には厳しく、そして、できたことやがんばっていることを認めて、励ましていきました。高学年の団体競技では、子どもたちに考えさせることを意識して指導を行いました。それに加えて、ご家庭での支えがあったことも子どもたちの励みとなり、どの子も『最後まであきらめず、がんばりぬく』ことができた実感しています。

人生の中で、『がんばりぬく』ことで乗り越えられる場面がたくさんあります。この体育大会での経験を糧に、これからも、子どもたちは、多くのことに挑戦し、がんばりぬいてくれることと期待しています。教職員一同で見守り、励ましていきますので、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。





# 11月の予定



日	曜日	主な行事
1	月	修学旅行 (6年:リトルワールド、鈴鹿サーキット)
2	火	↓
3	水	文化の日
4	木	個人懇談
5	金	↓
6	土	
7	日	
8	月	避難訓練
9	火	いじめアンケート(2回目)
10	水	委員会
11	木	代表委員会 チャレンジタイム
12	金	自然学校(5年:青少年いこいの家)
13	土	
14	日	
15	月	

	曜日	主な行事
16	火	避難訓練予備日
17	水	
18	木	図工展準備5校時(6年) チャレンジタイム
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	保健集会
23	火	勤労感謝の日
24	水	
25	木	チャレンジタイム
26	金	図工展(児童鑑賞)
27	土	図工展(保護者鑑賞)
28	日	
29	月	代休日
30	火	

## 【12月の予定】

- 8日(水) あまっ子ステップ・アップ調査
- 10日(金) 自然学校(5年:陶芸公園 有馬富士)
- 21日(火) 集団下校
- 22日(水) 給食終了
- 24日(金) 終業式 大掃除



## 【図工展(保護者鑑賞)について】

27日(土) 9:00~12:00  
13:30~15:30

\*児童は午前中授業があります。

29日(月) 代休日

※マスクの着用をお願いいたします。

※保護者鑑賞は、保護者のみで児童は入場できません。よろしくお願いいたします。

## 【読書週間】



10月26日(火)から29日(金)まで『読書週間』でした。今年度は、図書委員会の児童が図書スタンプラリーを計画しました。スタンプを集めると図書委員会で作製した「しおり」がプレゼントされました。学校や家での読書にも使えますね。

☆『おはなし会』

今年度も“物語”を語る『すずらの会』のみなさんにお越しいただきました。おはなしのろうそくを灯し、いろいろなおはなしを豊かな声と表情を交え語ってくださり、子どもたちはおはなしの世界に引き込まれていました。『おはなし会』で読まれた本は次のとおりです。(☆は図書室にもありますよ)

『お月さまのおはなし』 『こすずめのぼうけん』☆ 『マーシャと白い鳥』 『うりこひめこ』  
『きつねのよめいり』 『どうぶつえん』 『ロバのシルベスタとまほうの小石』  
『すみれ島』☆ 『すずのなる道』 『ラプンツェル』☆ 『ヤクーバとライオン』

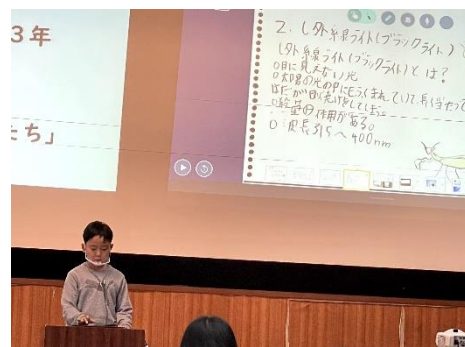
これからもいろいろな本に出会い、読書活動を楽しんでいってください。



## 【児童理科研究発表会】



10月21日(木)に、尼崎市教育-障害福祉センター(4階視聴覚室)で行われた『第60回児童理科研究発表会』に、3年生の豊川 武さんが、成文小学校を代表して発表してくれました。夏休みに淡路島で、夜、虫が光に集まる習性を利用して虫をつかまえようとしたことをきっかけに実験をしました。その結果、ライトの種類によって、虫の数や種類がちがうことがわかりました。当日は、21名の発表がありましたが、大きな声で実験したことをまとめて、発表しました。緊張していたと思いますが、よく頑張っていました。



## 【キャリア教育出前授業】



10月21日(木)に、福祉落語家の壽 文寿(ことぶき もんじゅ)さんが、5年生のキャリア教育の授業のために来校してくださいました。壽 文寿さんは、兵庫県公認の福祉落語家として、落語や講演に全国をまわっておられます。『自分の歩んできた道～困難を乗り越えて～』というテーマで講演、その後、落語を見せてくれました。視聴覚室が落語の寄席になり、初めて落語を見た、聴いたという児童も多くいました。

壽 文寿さんは小学生の頃に吃音(きつおん)があり、人前で話すことが苦手でしたが、困難を乗り越えて落語家として活躍しておられます。最初から話に引き込まれ、楽しい落語を身近に聴くことができました。



### 【5年生の感想から…】

- \* 今日、初めて落語を聞いて、表現や1人で3人ぐらい話すとき、体も動いていてとてもおもしろかったし、すごいと思いました。
- \* 悲しいことがあってもあきらめずに待てばいいことがあることを今日知って、しんどいことがあってもあきらめずに生きようと思いました。
- \* 落語がきっかけで今のようにきはきとしゃべれるようになったのはすごいと思いました。じゅげむじゅげむごこうのすりきれ…をたくさん言って覚えられるなんてびっくりしました。

### 【お願い】保健室,etc.に直行せずに「保健室,etc.に用事があって…」と、 職員室への、一言、《声かけ》にご協力ください ～『職員室』を、児童・学校を守る“防波堤”にするために～

子どもたちの安全を確保するために、学校を安心して過ごせる場所にしておくために、学校の校舎内に立ち入る人皆すべてに、『職員室』への、一言、《声かけ》をお願いしたいと思っています。『不審者対応』と言われるような事案は、本校では、ここ6年、一度も発生していません。ですが、世の中の的には、そのような事案が『ない』訳ではありません。

校舎内に立ち入る『業者』さんにもこのお願いは、強く要請してきました。そして、今ではもう、『職員室』に一言《声かけ》しないで校舎内に立ち入ってしまう『業者』さんは、ほとんどおられません。

保護者の皆様にも、“保健室から連絡があって…”とか、“子どもの忘れ物を届けたくて教室に…”とか、目的の場所《教室》がはっきりしている場合であっても、『職員室』の扉をノックしていただき、“要件”を伝えていただきますようご協力をお願いいたします。